



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月26日

上場会社名 トランコム株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 恒川 穰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理・法務グループ 担当 (氏名) 川村 晋一 TEL (052) 939-2011

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日 2020年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	72,645	△9.4	3,592	△2.2	3,666	1.0	2,562	8.5
2020年3月期第2四半期	80,217	9.4	3,672	23.1	3,630	21.9	2,362	18.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,725百万円 (9.9%) 2020年3月期第2四半期 2,480百万円 (24.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	261.89	261.22
2020年3月期第2四半期	241.45	240.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	60,015	40,539	67.0	4,108.76
2020年3月期	59,545	38,250	63.7	3,878.18

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 40,207百万円 2020年3月期 37,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	52.00	—	52.00	104.00
2021年3月期	—	55.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	△8.8	7,640	1.0	7,770	4.7	5,270	7.3	538.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	10,324,150株	2020年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	538,417株	2020年3月期	539,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	9,784,999株	2020年3月期2Q	9,784,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2020年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ42,600株及び41,110株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、個人消費・企業活動が停滞し、経済活動再開の動きがみられるものの景気は急速に悪化しており、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、社員の健康と安全の確保を最優先として、社会生活や活動の根幹である物流を止めないという使命を持ち、顧客やパートナー事業者と一体となって社会的責任を果たすべく、事業継続に取り組みました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は以下のとおりです。

(トランコムグループの連結経営成績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高	80,217	72,645	△7,571	△9.4
営業利益	3,672	3,592	△80	△2.2
経常利益	3,630	3,666	36	1.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,362	2,562	200	8.5

(事業セグメント別の経営成績)

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	26,989	27,451	462	1.7
	営業利益	1,673	2,097	423	25.3
物流情報サービス 事業	売上高	45,385	37,651	△7,734	△17.0
	営業利益	1,606	1,322	△284	△17.7
インダストリアル サポート事業	売上高	3,735	2,862	△872	△23.4
	営業利益	178	47	△131	△73.7
その他	売上高	4,859	5,523	664	13.7
	営業利益	262	192	△69	△26.7
連結消去	売上高	△751	△842	△91	—
	営業利益	△48	△66	△18	—
連結合計	売上高	80,217	72,645	△7,571	△9.4
	営業利益	3,672	3,592	△80	△2.2

ロジスティクスマネジメント事業については、前期及び今期稼働拠点の寄与に加え、コロナ禍による巣ごもり需要で個人宅配ニーズが高まり物量が増加したことなどにより、増収増益となりました。

物流情報サービス事業については、国内輸送需要の減衰により、貨物情報数は前年同期比37.1%減少、空車情報数は同25.2%増加、成約件数は同15.3%減少となり、減収減益となりました。

インダストリアルサポート事業については、顧客の生産減や工場閉鎖等の影響を大きく受け、減収減益となりました。

その他に区分される海外拠点においては、2020年1月～6月の業績が連結されております。2019年10月に子会社化したSergent Services Pte Ltdの連結化により売上高は増収しましたが、営業利益においては国内システム部門における新技術習得費用の増加などにより、減益となりました。

当社グループとしては、社会経済の変化に厳しさを受け止める一方で、全社でコストへの強い意識を持ち、コストコントロール施策を実施することで、強固な組織・盤石な収益基盤を構築してまいります。また、コロナ収束後に新たに生まれる社会的課題や物流構造の変化を見据えた中で、長期ビジョンに掲げる高度な「はこぶ」仕組みの創造に注力してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較分析は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、現金及び預金が3,088百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が2,861百万円減少したことなどにより、480百万円増加し41,048百万円となりました。

固定資産は、減価償却等により有形固定資産が381百万円、無形固定資産が114百万円、それぞれ減少した一方、投資その他の資産が485百万円増加したことにより、10百万円減少し18,966百万円となりました。これらにより資産合計は、470百万円増加し60,015百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、買掛金が2,176百万円、未払法人税等が207百万円、それぞれ減少した一方、未払消費税等が425百万円増加したことなどにより、1,786百万円減少し16,558百万円となりました。

固定負債は、33百万円減少し2,916百万円となりました。これらにより負債合計は、1,819百万円減少し19,475百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が2,120百万円増加したことなどにより、2,289百万円増加し40,539百万円となり、自己資本比率は67.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,088百万円増加し17,663百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,666百万円、減価償却費1,160百万円及び売上債権の減少額2,818百万円などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少額2,152百万円及び法人税等の支払額1,206百万円などにより資金が減少したことにより、4,615百万円の収入（前年同四半期は2,952百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出429百万円、無形固定資産の取得による支出308百万円の資金の減少などにより、714百万円の支出（前年同四半期は2,071百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額513百万円、リース債務返済による支出222百万円の資金の減少などにより、728百万円の支出（前年同四半期は598百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響について合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予想に基づき算定いたしました。

各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

トランコムグループの連結業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	対前期増減額	対前期増減率 (%)
売上高	163,463	149,000	△14,463	△8.8
営業利益	7,566	7,640	73	1.0
経常利益	7,417	7,770	352	4.7
親会社株主に帰属する当期純利益	4,909	5,270	360	7.3

セグメントごとの業績予想

(単位：百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	対前期増減額	対前期増減率 (%)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	55,024	54,750	△274	△0.5
	営業利益	3,642	4,410	767	21.1
物流情報サービス 事業	売上高	92,418	78,970	△13,448	△14.6
	営業利益	3,272	2,940	△332	△10.2
インダストリアル サポート事業	売上高	7,302	5,550	△1,752	△24.0
	営業利益	231	80	△151	△65.4
その他	売上高	10,321	11,270	948	9.2
	営業利益	561	340	△221	△39.4

(注)上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

なお、詳細につきましては、本日(2020年10月26日)公表いたしました「2021年3月期 通期業績予想(連結)及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,575	17,663
受取手形及び売掛金	25,189	22,328
商品	39	12
仕掛品	1	2
貯蔵品	18	15
前払費用	615	759
その他	129	267
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	40,568	41,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,112	9,445
減価償却累計額	△4,694	△4,778
建物及び構築物 (純額)	3,418	4,666
機械装置及び運搬具	6,193	6,361
減価償却累計額	△4,687	△4,901
機械装置及び運搬具 (純額)	1,506	1,460
土地	2,991	2,871
リース資産	2,396	2,435
減価償却累計額	△1,540	△1,601
リース資産 (純額)	855	833
建設仮勘定	1,671	221
その他	2,033	2,202
減価償却累計額	△999	△1,160
その他 (純額)	1,033	1,041
有形固定資産合計	11,477	11,095
無形固定資産		
のれん	892	806
ソフトウェア	1,330	1,242
ソフトウェア仮勘定	356	473
顧客関連資産	457	401
その他	162	160
無形固定資産合計	3,198	3,084
投資その他の資産		
投資有価証券	1,841	2,496
繰延税金資産	699	550
再評価に係る繰延税金資産	—	19
差入保証金	1,566	1,522
その他	209	212
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	4,300	4,786
固定資産合計	18,976	18,966
資産合計	59,545	60,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,500	10,323
リース債務	447	467
未払金	714	795
未払費用	1,342	1,366
未払法人税等	1,324	1,116
未払消費税等	998	1,424
賞与引当金	643	683
役員賞与引当金	—	16
その他	373	365
流動負債合計	18,344	16,558
固定負債		
リース債務	1,275	1,198
繰延税金負債	96	104
再評価に係る繰延税金負債	11	—
株式給付引当金	257	281
役員株式給付引当金	249	278
退職給付に係る負債	106	103
資産除去債務	576	576
その他	377	375
固定負債合計	2,950	2,916
負債合計	21,294	19,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,740	1,745
利益剰余金	36,175	38,296
自己株式	△1,044	△1,042
株主資本合計	37,951	40,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	515
土地再評価差額金	26	△44
為替換算調整勘定	△186	△332
退職給付に係る調整累計額	△11	△10
その他の包括利益累計額合計	△5	128
新株予約権	104	104
非支配株主持分	199	227
純資産合計	38,250	40,539
負債純資産合計	59,545	60,015

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	80,217	72,645
売上原価	75,213	67,696
売上総利益	5,003	4,948
販売費及び一般管理費	1,331	1,356
営業利益	3,672	3,592
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	14
持分法による投資利益	18	29
助成金収入	2	183
その他	16	37
営業外収益合計	50	265
営業外費用		
支払利息	47	54
その他	45	136
営業外費用合計	93	191
経常利益	3,630	3,666
特別損失		
支払補償費	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益	3,604	3,666
法人税、住民税及び事業税	1,217	1,112
法人税等調整額	△12	△48
法人税等合計	1,204	1,063
四半期純利益	2,399	2,603
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,362	2,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	40
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	350
為替換算調整勘定	△49	△158
土地再評価差額金	—	△70
退職給付に係る調整額	△5	1
その他の包括利益合計	80	122
四半期包括利益	2,480	2,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,441	2,696
非支配株主に係る四半期包括利益	38	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,604	3,666
減価償却費	1,024	1,160
のれん償却額	24	64
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51	40
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	18	16
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	27	23
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	25	29
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△14
持分法による投資損益 (△は益)	△18	△29
助成金収入	—	△183
支払利息	47	54
固定資産除却損	12	8
支払補償費	25	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△236	2,818
仕入債務の増減額 (△は減少)	386	△2,152
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△101	426
その他	△514	△249
小計	4,357	5,679
利息及び配当金の受取額	13	14
助成金の受取額	—	183
利息の支払額	△47	△54
支払補償費の支払額	△24	—
法人税等の支払額	△1,346	△1,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,952	4,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,689	△429
有形固定資産の売却による収入	3	124
無形固定資産の取得による支出	△213	△308
投資有価証券の取得による支出	△0	△121
その他	△172	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,071	△714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	—	7
配当金の支払額	△472	△513
リース債務の返済による支出	△125	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△598	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	266	3,088
現金及び現金同等物の期首残高	13,675	14,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,942	17,663

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に付いて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,989	45,353	3,726	76,068	4,148	80,217	—	80,217
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	32	8	41	710	751	△751	—
計	26,989	45,385	3,735	76,109	4,859	80,968	△751	80,217
セグメント利益	1,673	1,606	178	3,459	262	3,721	△48	3,672

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、のれんの償却額△24百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△10百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,446	37,623	2,854	67,924	4,721	72,645	—	72,645
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	27	7	40	802	842	△842	—
計	27,451	37,651	2,862	67,964	5,523	73,488	△842	72,645
セグメント利益	2,097	1,322	47	3,467	192	3,659	△66	3,592

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益の調整額△66百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、のれんの償却額△64百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。